



SYLLABUS

平成 25 年度高大連携授業

前期授業要目

(科目概要)

大学コンソーシアムあきた

目 次

| | | | |
|----|----------------------|-----------------|--------------|
| 1 | 英語文化・言語・教育・コミュニケーション | (秋田大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 1 |
| 2 | 高校とは違う大学の生物学 | (秋田大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 2 |
| 3 | 動物の環境適応と進化 | (秋田大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 3 |
| 4 | 宇宙への道 | (秋田大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 4 |
| 5 | 電子技術の最前線 | (秋田県立大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 5 |
| 6 | C言語プログラミング | (秋田県立大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 6 |
| 7 | コンピュータ、役に立ちます | (秋田県立大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 7 |
| 8 | 応用生物科学への招待 | (秋田県立大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 8 |
| 9 | 植物とその生産を科学する | (秋田県立大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 9 |
| 10 | 秋田の環境と生物環境科学を学ぼう | (秋田県立大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 10 |
| 11 | アグリビジネス | (秋田県立大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 11 |
| 12 | 国際教養学への招待 | (国際教養大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 12 |
| 13 | 高校生のための経済学・経営学入門 | (ノースアジア大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 13 |
| 14 | 法学の面白さ | (ノースアジア大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 14 |
| 15 | 楽しい国際観光 in 秋田 | (ノースアジア大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 15 |
| 16 | 観光学のすすめ | (ノースアジア大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 16 |
| 17 | 看護の魅力と可能性 | (秋田看護福祉大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 17 |
| 18 | 「福祉学」の魅力と可能性 | (秋田看護福祉大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 18 |
| 19 | 高校生のための看護学入門 | (日本赤十字秋田看護大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 19 |
| 20 | アート・デザインの現状と未来 | (秋田公立美術大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 20 |
| 21 | 健康と栄養 | (秋田栄養短期大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 21 |
| 22 | 食品と栄養の基礎知識 | (聖霊女子短期大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 22 |
| 23 | ようこそ保育の道へ | (聖霊女子短期大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 23 |
| 24 | 哲学はじめの一步 | (聖霊女子短期大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 24 |
| 25 | 暮らしを創る介護福祉士の役割 | (日本赤十字秋田短期大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 25 |
| 26 | 楽しく学べる保育入門 | (聖園学園短期大学) | ・ ・ ・ ・ ・ 26 |
| 27 | CADによるものづくり体験 | (秋田職業能力開発短期大学校) | ・ ・ ・ ・ ・ 27 |
| 28 | ソフトウェアのしくみ | (秋田職業能力開発短期大学校) | ・ ・ ・ ・ ・ 28 |
| 29 | 室内の仕上げ施工実習 | (秋田職業能力開発短期大学校) | ・ ・ ・ ・ ・ 29 |

平成25年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | |
|--|---|---|-------------------|--|---------|---------|---------|
| | | 大学等名 | | 秋田大学 | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 英語文化・言語・教育・ コミュニケーション ～英語の楽しさ再発見～ | | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉教育文化学部 学校教育課程 教科教育学講座 〈職・氏名〉教授 佐々木 雅子 他（4名） | | | |
| 授業概要 大学での英語というのは単に「英語」という科目があるわけではありません。大学で「英語教育」といった場合、大きく分けて「英語という言語そのものを研究する」、「英語の文化的背景を研究する」、「英語教育・学習の心理や社会的要因を研究する」、「道具として使える英語能力を高める」この4つにわかれます。本講座では、これら各分野および留学について、秋田大学での担当教員が講義を行います。 | | | | | | | |
| 授業方法 と留意点 | | 担当者の話を聞くだけではなく、視覚教材を通して英語学習を体験したり、実際に学習活動をしてもらうこともあります。受講者は特に大学で「英語」を専攻しようとする方でなくてもかまいません。苦手だという人もまた新しい視点から英語を見直す機会になるものと期待しています。 | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | |
| <u>< 6月5日 ></u> | | | | | | | |
| 第1講：「外国語習得の心理と原理（外国語はこうして学ぶ） ～英語を通して世界とつながるために～」 佐々木 雅子 教授 | | | | | | | |
| <u>< 6月12日 ></u> | | | | | | | |
| 第2講：「言語・コミュニケーション研究と英語学習」 星 宏人 教授 | | | | | | | |
| <u>< 6月19日 ></u> | | | | | | | |
| 第3講：「アメリカ文学の世界」 中尾 信一 准教授 | | | | | | | |
| <u>< 6月26日 ></u> | | | | | | | |
| 第4講：「英語、留学、コミュニケーション～英語を通して世界とつながる～」 若有 保彦 准教授 | | | | | | | |
| テキスト | 随時、担当者が配付 | | | | | | |
| 参考文献 | 各担当者が授業で紹介 | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 水曜日 17:30～19:00 | 開講日 | 6/5 | 6/12 | 6/19 | 6/26 |
| 関連科目 | 特になし | | 会 場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | |
|---|---|-------------|-------------|-------------------------|--|---------|---------|---------|---------|
| | | 大学等名 | | 秋田大学 | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 高校とは違う大学の生物学 ～暗記科目でない生物学～ | | | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉教育文化学部 自然環境講座 (職・氏名) 准教授 石井 照久 | | | | |
| 授業概要 大学での生物学は高校までの生物学とはかなり違います。暗記が多い科目に思いがちですが実はそうではありません。生物学は生命現象を捉えようとする学問で、すべて生き物から学んでいます。そのために生き物に問いかけること、すなわち観察・実験が重要で、大学ではこれらに重きを置いています。観察・実験によって生命の神秘がわかったり、新たな疑問が生まれたりします。この科目では、高校とは違う大学の生物学を少し体験してもらい、大学の生物学の楽しさを味わってもらいたいと思います。そのため実際に生き物を観察したり、DNA抽出体験をしてもらったりします。 | | | | | | | | | |
| 授業方法 と留意点 | テキストは特に指定しません。参考文献は、購入の必要はありませんが、興味があったら購入して下さい。 | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | |
| <u>< 6月4日 ></u> 第1講：「大学の生物学はここが違う！」 生物学は面白い 役に立つ 生き物って？ 植物？動物？ | | | | | | | | | |
| <u>< 6月11日 ></u> 第2講：「細胞をみてみよう！」 普段見慣れている生き物も細胞でできている。 細胞は増える 細胞は死ぬ でもがん細胞は不死身？ | | | | | | | | | |
| <u>< 6月18日 ></u> 第3講：「海の生物を知ろう！」 地表の約70%を占める海には多様な生物がいる 海の環境が悪化すると | | | | | | | | | |
| <u>< 6月25日 ></u> 第4講：「動物の体をみよう！」 動物の体は基本的には似ている 解剖をしてみよう | | | | | | | | | |
| <u>< 7月2日 ></u> 第5講：「遺伝子の正体であるDNAをみよう！」 遺伝子は何をしているか？ DNAを抽出してみよう | | | | | | | | | |
| テキスト | なし | | | | | | | | |
| 参考文献 | 「生物学超入門」 大石正道著 日本実業出版社 1300円 「遺伝子時代の基礎知識」 東嶋和子著 講談社 1040円 「“生きている”ってどういうこと」 培風館 1900円 | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 火曜日 | 17:30～19:00 | 開講日 | 6/4 | 6/11 | 6/18 | 6/25 | 7/2 |
| 関連科目 | なし | | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | |
|--|--|--------|-----------|---|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| | | 大学等名 | | 秋田大学 | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 動物の環境適応と進化 ～分子から見た動物の生存戦略～ | | 科目 担当者 | <学部・学科> 工学資源学部 生命科学・環境資源学研究センター (職・氏名) 准教授 布村 渉 | | | | | |
| 授業概要 生命とは何でしょうか。宇宙の彼方にいるかもしれない生命は地球上の生命と同じなの でしょうか。なぜ恐竜は絶滅したのに、哺乳類は生き延びることが出来たのでしょうか。そし て、ヒトが誕生する背景には何があったのでしょうか。このような疑問を様々な「分子」の視点 から皆さんと考えてみたいと思います。 | | | | | | | | | |
| 授業方法 と留意点 | 各テーマについて、皆さんと討論しながら授業を進めて行きます。積極的な討論を希 望します。高校での履修科目は問いません。スライドで示す内容はプリントにして配 付する予定です。 | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | |
| < 6月1日 > | | | | | | | | | |
| 第1講：(13:30～15:00) 「「生命」とは？」 生命とは何かについて討論します。 | | | | | | | | | |
| 第2講：(15:15～16:45) 「細胞と分子」 生命の基本単位である「細胞」と生命活動を担う「分子」の基礎を概説します。 | | | | | | | | | |
| < 6月8日 > | | | | | | | | | |
| 第3講：(13:30～15:00) 「恐竜の出現と絶滅」 恐竜が出現した背景と巨大化した理由、絶滅の原因を探ります。 | | | | | | | | | |
| 第4講：(15:15～16:45) 「哺乳類の誕生と地球環境」 恐竜と同時に誕生した哺乳類の生態とヒトへの進化を遂げた背景を考察します。 | | | | | | | | | |
| < 6月15日 > | | | | | | | | | |
| 第5講：(13:30～15:00) 「極限環境の動物」 冬眠する動物や氷点下の海に棲息する魚類の生存戦略を見てみます。 | | | | | | | | | |
| テキスト | 毎回、プリント資料を配布する予定です。 | | | | | | | | |
| 参考文献 | 授業の中で紹介します。 | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 土曜日 集中 | | 開講日 | 6/1 13:30～ | 6/1 15:15～ | 6/8 13:30～ | 6/8 15:15～ | 6/15 13:30～ |
| 関連科目 | 生物学、化学 | | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | |
|--|------------------------------|-------------|-------------------|--|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | | 大学等名 | | 秋田大学 | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 宇宙への道 ～宇宙科学編～ | | 科目 担当者 | (学部・学科) 工学資源学部 ものづくり創造工学センター (職・氏名) 副センター長/助教 和田 豊 | | | | | |
| 授業概要 宇宙開発を行う上ではまず宇宙や地球周辺の環境について知る必要があります。そこで前期では宇宙科学編として、主に星の種類やその一生、太陽系やオーロラなどといった地球周辺環境について紹介します。また実際に水ロケットの製作・打上げを実施するなど体験型の授業も実施し宇宙工学の基礎を体験しながら学習します。 | | | | | | | | | |
| 授業方法 と留意点 | 文系・理系問わず、宇宙に興味のある高校生を対象とします。 | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | |
| < 5月19日 > | | | | | | | | | |
| 第1講：「ガイダンス」(9:00～9:50) 日本の宇宙開発のダイジェストと能代宇宙イベントなど、秋田県の宇宙関連活動を紹介します。 | | | | | | | | | |
| 第2講：「太陽系の構成」(10:00～10:50) 太陽系の構成と、星の一生について紹介します。さらには太陽風とオーロラの関係、地球周辺環境の特徴などを紹介します。 | | | | | | | | | |
| 第3講：「水ロケット製作」(11:00～11:50) 座学だけではなく、ロケットの簡単な構造原理を頭に入れながら水ロケットの製作を行います。 ※ <u>11:50～13:00 昼食時間 (昼食を持参ください)</u> | | | | | | | | | |
| 第4講：「水ロケット打ち上げ」(13:00～14:50) 実際に製作した水ロケットの打上げを実施して理論と実際の違いについて考察します。 | | | | | | | | | |
| 第5講：「宇宙資源」(15:00～15:50) 宇宙開発の目的として宇宙資源の探査と活用が挙げられます。太陽系を宇宙資源として捉えてどのような資源があり、活用が可能かを考えます。 | | | | | | | | | |
| <その他>この授業は、秋田大学手形キャンパスを会場に開講します。 秋田大学 工学資源学部 ものづくり創造工学センター 住所 秋田市手形学園町1-1 電話 018-889-2806 | | | | | | | | | |
| テキスト | | | | | | | | | |
| 参考文献 | | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 日曜日 | 集中 | 開講日 | 5/19 9:00～ | 5/19 10:00～ | 5/19 11:00～ | 5/19 13:00～ | 5/19 15:00～ |
| 関連科目 | | | | 会場 | 秋大手形 | 秋大手形 | 秋大手形 | 秋大手形 | 秋大手形 |

平成25年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | |
|---|--|-------------|-------------|--------------|---|---------|---------|---------|---------|
| | | 大学等名 | | 秋田県立大学 | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 電子技術の最前線 ～電子技術はどのように使われているか～ | | | 科目担当者 | 〈学部・学科〉システム科学技術学部 電子情報システム学科 (職・氏名)教授 青山 隆 他 (5名) | | | | |
| 授業概要 電子技術は、毎日の生活を円滑、かつ快適に送るための必須の技術として、その重要性を益々高めています。最新の電子技術を5つの分野に分けて易しく説明します。 | | | | | | | | | |
| 授業方法と留意点 | 電子技術に興味を持つ高校生向けの内容です。物理を履修していると話が理解しやすいです。 | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | |
| <u>< 6月7日 ></u> | | | | | | | | | |
| 第1講：「発光ダイオード（LED）のしくみとその使い方」 青山 隆 教授 ダイオードの構造、発光のメカニズム、使い方を学びます。 | | | | | | | | | |
| <u>< 6月14日 ></u> | | | | | | | | | |
| 第2講：「液晶と光の不思議」 本間 道則 准教授 液晶ディスプレイのしくみとともに偏光や干渉など光の性質について学びます。 | | | | | | | | | |
| <u>< 6月21日 ></u> | | | | | | | | | |
| 第3講：「電磁気学とその応用を見てみよう」 戸花 照雄 准教授 コピー機やモーターなど電磁気学を応用した装置の原理について学びます。 | | | | | | | | | |
| <u>< 6月28日 ></u> | | | | | | | | | |
| 第4講：「電波はどのように利用されているか」 笹森 崇行 准教授 電波のいろいろな使い方を紹介します。 | | | | | | | | | |
| <u>< 7月5日 ></u> | | | | | | | | | |
| 第5講：「雑音のはなし」 岡本 洋 准教授 計測技術を磨き上げていくと、最後に自然界の本質に根ざした雑音が残ります。 | | | | | | | | | |
| テキスト | 当日、プリントを配付します。 | | | | | | | | |
| 参考文献 | | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 金曜日 | 17:30～19:00 | 開講日 | 6/7 | 6/14 | 6/21 | 6/28 | 7/5 |
| 関連科目 | 物理、数学、化学 | | | 会 場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

□従来型授業

■単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | | |
|---|--|------|---|---|--------------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | | 大学等名 | 秋田県立大学 | | | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | C言語プログラミング ～ちよつと先取り、 大学のプログラミング授業～ | | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉システム科学技術学部 電子情報システム学科 (職・氏名) 准教授 廣田 千明 他(3名) | | | | | | |
| 授業概要 パソコンやスマートフォンで動くアプリケーションはプログラミング言語でプログラムされています。本科目では代表的なプログラミング言語であるC言語を講義と実習により学習します。 | | | | | | | | | | |
| 授業方法 と留意点 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・実習を交えながら授業を進めます。 ・本科目は、秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科必修科目「プログラミング演習」の3回分の授業に相当します。本科目受講生は希望すれば、本科目を単位取得予約型授業に切り替え、残りの12回の授業を受講することで単位を取得することが可能になります。(※別途科目等履修生としての手続きが必要となります) | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | | |
| <u><6月8日></u> | | | | | | | | | | |
| 第1講：(13:30～15:00) 「プログラミング入門(1)」 | | | | | | | | | | |
| 第2講：(15:15～16:45) 「プログラミング入門(2)」 | | | | | | | | | | |
| <u><6月15日></u> | | | | | | | | | | |
| 第3講：(13:30～15:00) 「C言語の基本的規則(1)」 | | | | | | | | | | |
| 第4講：(15:15～16:45) 「C言語の基本的規則(2)」 | | | | | | | | | | |
| <u><6月22日></u> | | | | | | | | | | |
| 第5講：(13:30～15:00) 「簡単な計算・プリプロセッサ(1)」 | | | | | | | | | | |
| 第6講：(15:15～16:45) 「簡単な計算・プリプロセッサ(2)」 | | | | | | | | | | |
| 担当教員：廣田 千明 准教授、能登谷 淳一 准教授、渡邊 貫治 助教 | | | | | | | | | | |
| <p><その他>この授業は、秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。</p> <p>住所 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4</p> <p>電話 0184-27-2000</p> | | | | | | | | | | |
| テキスト | 当日配布します。 | | | | | | | | | |
| 参考文献 | 「Cの絵本」アंक著、翔泳社 | | | 評価方法 | 単位取得希望者は課題とレポートにより評価します。 | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 土曜日 | 13:30～16:45 | 開講日 | 6/8 13:30～ | 6/8 15:15～ | 6/15 13:30～ | 6/15 15:15～ | 6/22 13:30～ | 6/22 15:15～ |
| 関連科目 | 情報 | | | 会場 | 県大本荘 | 県大本荘 | 県大本荘 | 県大本荘 | 県大本荘 | 県大本荘 |

平成25年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | |
|---|------------------------------------|-------------|-------------------|--|------|------|------|------|------|
| | | 大学等名 | | 秋田県立大学 | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | コンピュータ、役に立ちます ～コンピュータの活用法とその背景～ | | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉 システム科学技術学部 電子情報システム学科/経営システム工学科 〈職・氏名〉 准教授 廣田 千明 他（5名） | | | | | |
| 授業概要 私たちの身のまわりにある様々な問題を解決するためにコンピュータが利用されています。そこで本科目ではコンピュータを使って解決するために必要な基礎的考え方や様々な技術の活用法を学びます。 | | | | | | | | | |
| 授業方法 と留意点 | | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | |
| <u><6月4日></u> | | | | | | | | | |
| 第1講：「コンピュータを使った問題解決」 | | | 廣田 千明 准教授 | | | | | | |
| コンピュータを使ってどのような問題が解決できるか広く紹介します。 | | | | | | | | | |
| <u><6月11日></u> | | | | | | | | | |
| 第2講：「パケットの中身をみてみよう」 | | | 寺田 裕樹 助教 | | | | | | |
| コンピュータを使ってデジタルデータをみてみます。 | | | | | | | | | |
| <u><6月18日></u> | | | | | | | | | |
| 第3講：「音の仕組み、音を作る（創る）には」 | | | 渡邊 貫治 助教 | | | | | | |
| 音の物理的な側面、感覚的な側面に基づくコンピュータによる音の合成の話です。 | | | | | | | | | |
| <u><6月25日></u> | | | | | | | | | |
| 第4講：「折り紙で幾何学」 | | | 松下 慎也 助教 | | | | | | |
| 折り紙の工学への応用について紹介します。多面体作りにも取り組みます。 | | | | | | | | | |
| <u><7月2日></u> | | | | | | | | | |
| 第5講：「コンピュータを使って重要な経営情報をつかもう！」 | | | 工藤 周平 助教 | | | | | | |
| 経営に役立つ情報をコンピュータを使って調べます。 | | | | | | | | | |
| <p><その他>この授業は、秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。</p> <p>住所 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4</p> <p>電話 0184-27-2000</p> | | | | | | | | | |
| テキスト | 当日資料を配付します。 | | | | | | | | |
| 参考文献 | 授業の中で紹介します。 | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 火曜日 | 17:30～19:00 | 開講日 | 6/4 | 6/11 | 6/18 | 6/25 | 7/2 |
| 関連科目 | 数学、情報 | | | 会場 | 県大本荘 | 県大本荘 | 県大本荘 | 県大本荘 | 県大本荘 |

平成25年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | |
|---|------------------|-------------|-------------|-------------------------|--|---------|---------|---------|---------|
| | | 大学等名 | | 秋田県立大学 | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 応用生物科学への招待 | | | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉 生物資源科学部 応用生物科学科 (職・氏名) 教授 村田 純 他(5名) | | | | |
| 授業概要 高校で学ぶ化学や生物の知識がどのように活用されて、私たちの生活に役立つものになっていくのかを探求的視点から解説し、伝統的な手法から最新のバイオテクノロジーまで幅広く、専門家が分かりやすく解説します。 | | | | | | | | | |
| 授業方法 と留意点 | 授業はオムニバス形式で行います。 | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | |
| <u>< 6月1日 ></u> | | | | | | | | | |
| 第1講：「がんの転移を抑制する試み」 | | | | 村田 純 教授 | | | | | |
| がんの転移を抑えるために、がん細胞の運動性を阻止する研究を紹介します。 | | | | | | | | | |
| <u>< 6月8日 ></u> | | | | | | | | | |
| 第2講：「腸内細菌叢の科学」 | | | | 志村 洋一郎 助教 | | | | | |
| 健康との関わりや研究手法について | | | | | | | | | |
| <u>< 6月15日 ></u> | | | | | | | | | |
| 第3講：「おいしさを測る～私たちが味を感じる要因～」 | | | | 石川 匡子 准教授 | | | | | |
| 私たちは食べ物のおいしさを五感を総動員して感じています。その仕組みを学びましょう。 | | | | | | | | | |
| <u>< 6月29日 ></u> | | | | | | | | | |
| 第4講：「醸造酵母の開発～かもしんと私～」 | | | | 中沢 伸重 教授 | | | | | |
| 清酒、ビール、パン製造に使われている出芽酵母との関わりを紹介します。 | | | | | | | | | |
| <u>< 7月6日 ></u> | | | | | | | | | |
| 第5講：「生命を支える水の輸送 — アクアポリン」 | | | | 岩崎 郁子 准教授 | | | | | |
| 生きた細胞の膜には、水の輸送を行うタンパク質が存在します。 | | | | | | | | | |
| テキスト | 授業ごとに資料を配付します。 | | | | | | | | |
| 参考文献 | | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 土曜日 | 13:30～15:00 | 開講日 | 6/1 | 6/8 | 6/15 | 6/29 | 7/6 |
| 関連科目 | 生物、化学 | | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | |
|---|--|-------------|--|-------------------|--|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | | 大学等名 | | 秋田県立大学 | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 植物とその生産を科学する ～私達の生活を支え豊かにする 植物の不思議をひも解く～ | | | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉生物資源科学部 生物生産科学科 (職・氏名) 准教授 小川 敦史 他 (5名) | | | | |
| 授業概要 生物は食べ物や衣類の素材などとして人々の生活を支え、豊かにしてくれています。秋田県ではその生産が重要な産業にもなっています。本科目では、植物とその生産に関する科学の世界へ皆さんを招き、私達の生活をさらに豊かにする道を紹介します。 | | | | | | | | | |
| 授業方法と留意点 生物生産科学科担当教員のオムニバス形式による講義です。質問など積極的に発言してください。各授業終了前に、簡単な授業の感想レポートを書いていただきます。主に植物を対象とする生物（学）、植物に関連する仕事や産業、あるいは農業に関心をもつ高校生が受講することを期待します。 | | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | |
| <u>< 5月19日 ></u> | | | | | | | | | |
| 第1講： (11:10～12:40) 「植物の不思議を解くために」 佐藤 奈美子 助教 ※ <u>12:40～13:20</u> 昼食時間 (昼食を持参ください) | | | | | | | | | |
| 第2講： (13:20～14:50) 「乾燥ストレスや塩ストレスに強い植物の作り方」 小川 敦史 准教授 | | | | | | | | | |
| 第3講： (15:00～16:30) 「植物のお医者さん（植物の病気を診断する）」 藤 晋一 准教授 | | | | | | | | | |
| <u>< 5月26日 ></u> | | | | | | | | | |
| 第4講： (11:10～12:40) 「神秘！リンゴの受精～遺伝子から結婚相手を見極める」 櫻井 健二 准教授 ※ <u>12:40～13:20</u> 昼食時間 (昼食を持参ください) | | | | | | | | | |
| 第5講： (13:20～14:50) 「植物のからだの中の「もの」の動きを変える」 中村 進一 准教授 | | | | | | | | | |
| テキスト | 授業ごとに資料を配付します。 | | | | | | | | |
| 参考文献 | | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 日曜日 集中 | | 開講日 | 5/19 11:10～ | 5/19 13:20～ | 5/19 15:00～ | 5/26 11:10～ | 5/26 13:20～ |
| 関連科目 | | | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | |
|---|----------------------------------|---------------------------|--------------|---|----------------|----------------|----------------|
| | | 大学等名 | | 秋田県立大学 | | | |
| 科目名 (#ブタイル) | 秋田の環境と生物環境科学を学ぼう | | 科目担当者 | 〈学部・学科〉生物資源科学部 生物環境科学科 〈職・氏名〉教授 金田 吉弘 他（4名） | | | |
| 授業概要 環境って、どんなふうに勉強すると思いますか？この授業では身近な自然や地域環境を題材に、農地や水、生態系の役割とそれに関連した様々な環境問題について幅広い角度から考えます。 | | | | | | | |
| 授業方法と留意点 | | 基本的に、パワーポイントの投影資料による授業です。 | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | |
| < 6月30日 > | | | | | | | |
| 第1講：（9:30～11:00） 「秋田の生物環境の特徴～農業との関連を中心に～」 金田 吉弘 教授 秋田の生物や農林業をめぐる環境問題について、全体を概観します。 | | | | | | | |
| 第2講：（11:10～12:40） 「秋田の水環境～水質のしらべ方～」 木口 倫 准教授 私たちの川は大丈夫！？暮らしのなかから川にでる医薬品のゆくえを調べよう！ | | | | | | | |
| ※ <u>12:40～13:20</u> 昼食時間 （昼食を持参ください） | | | | | | | |
| 第3講：（13:20～14:50） 「秋田の自然環境～生態系の役割～」 井上 みずき 助教 花と昆虫の関係についての科学を学ぼう | | | | | | | |
| 第4講：（15:00～16:30） 「環境と経済の両立を目指して～菜の花から始まるエコライフとは？～」 渡部 岳陽 助教 秋田県内に普及している菜の花資源循環の取組みを学びます。 | | | | | | | |
| テキスト | なし | | | | | | |
| 参考文献 | 特になし | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 日曜日 集中 | 開講日 | 6/30 9:30～ | 6/30 11:10～ | 6/30 13:20～ | 6/30 15:00～ |
| 関連科目 | 高校理科をはじめ、社会科から中学理科、日常的なことまで、いろいろ | | 会 場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | |
|--|--|---------------|-------------------|--|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | | 大学等名 | | 秋田県立大学 | | | | |
| 科目名 (#ブタ付) | アグリビジネス ～明日の地域農業を考える～ | | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉生物資源科学部 アグリビジネス学科 〈職・氏名〉教授 露崎 浩 他（5名） | | | | |
| 授業概要 地域農業の捉え方を学んだうえで、農業生産の基盤である農地の歴史と展望を知ります。さらに農業生産の1つである家畜生産の最前線を理解します。次いで地域農業を支える農業政策の知識を得、農業生産法人の展望を学びます。 | | | | | | | | |
| 授業方法 と留意点 | 具体的な事例を用い、専門的なことがらでも、わかり易く話します。参加をお待ちしております。 | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | |
| < 6月16日 > | | | | | | | | |
| 第1講：（9:30～10:40） 「地域農業の捉え方」 露崎 浩 教授 地域の農業はどのように捉えられるかを学び、第2講以降の講義の地域農業における位置づけ・関連を把握します。 | | | | | | | | |
| 第2講：（10:50～12:00） 「八郎潟干拓地の歴史と展望」 佐藤 照男 教授 八郎潟干拓地の生産基盤である農地の歴史と展望を学びます。 ※ <u>12:00～12:40 昼食時間（昼食を持参ください）</u> | | | | | | | | |
| 第3講：（12:40～13:50） 「家畜生産の現場で活用するアニマルテクノロジー」 横尾 正樹 准教授 農業生産の1つとして家畜生産を取り上げます。家畜生産技術の現在と近未来を学びます。 | | | | | | | | |
| 第4講：（14:00～15:10） 「農業・農家を支える農業政策」 椿 真一 助教 農業生産におけるリスク分散・回避に関する政策を学びます。 | | | | | | | | |
| 第5講（15:20～16:30） 「地域農業を支える共同の力」 李 侖美 助教 日本農業における農業生産法人経営の1つの形としてJA出資法人を学びます。 | | | | | | | | |
| テキスト | 講義内容をまとめたテキストを配付します。 | | | | | | | |
| 参考文献 | 授業の中で紹介します。 | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 日曜日 集中（70分授業） | 開講日 | 6/16 9:30～ | 6/16 10:50～ | 6/16 12:40～ | 6/16 14:00～ | 6/16 15:20～ |
| 関連科目 | 生物学、農業工学、農業政策学、農業経営学 | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | 大学等名 | 国際教養大学 | | | | | |
|--|---|-----------|---------------------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 科目名 (サブタイトル) | 国際教養学への招待 ～Invitation to International Liberal Arts～ | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉国際教養学部 〈職・氏名〉助教 遠藤 秀弘 他（5名） | | | | | |
| 授業概要 世界を理解するには何が重要か、大学での「学問」がいかに楽しいか、国際感覚を身につけるには高校時代に何を準備すべきかを国際教養大学の教員がそれぞれの専門分野の研究結果を踏まえ、様々な角度から指導します。 | | | | | | | | |
| 授業方法と留意点 授業は、日本語または英語で行われます。演習やワークショップ形式を中心に行うため、積極的に授業に参加することが期待されます。なお、受講者による事前準備は必要ありません。 | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | |
| < 6月1日 > | | | | | | | | |
| 第1講：（13:30～15:00） 「A Journey to Becoming an Awesome Teacher: Exploring Teaching as a Career」 遠藤 秀弘 助教 将来を考える上で、教員になるという選択肢を想定した方も多いのでは。国際的な視野を持つ魅力に富んだ先生として活躍するってどういことなのでしょう。AIUで教員を目指している学生たちはどのようにその資質を磨いているか、また、「Awesome Teacher」として活躍する意義は何かなど、AIU学生の実際の声や模擬授業などを通し、考察してみましょう。（講義は日本語で行います） | | | | | | | | |
| 第2講：（15:15～16:45） 「Writing “Professional” e-mail」 Geoffrey Woodward 講師 Students will listen to my lecture, read a model e-mail and discuss its content and form in small groups. Lastly, students will actually write a few e-mail messages in class, do a peer review, and then write a final draft professional e-mail.（講義は英語で行います） | | | | | | | | |
| < 6月8日 > | | | | | | | | |
| 第3講：（13:30～15:00） 「教養教育としての経済学の実践」 俵 典和 助教 経済学的な思考方法をマスターすると、「こんなことも経済学で分析できるの？」と思うような世の中の様々な問題を実践的に考察することが可能になります。誰でも分かる簡単な概念、考え方の積み重ねで、びっくりするような数々の面白い視点が得られます。（講義は日本語で行います） | | | | | | | | |
| 第4講：（15:15～16:45） 「多民族国家中国へのアプローチ」 Gangbagana 助教 日本と違い多民族国家である中国は、公式的には漢民族と55の少数民族によって構成されています。本講義ではこれらの民族のあり方について初歩的な考察を行います。（講義は日本語で行います） | | | | | | | | |
| < 6月22日 > | | | | | | | | |
| 第5講：（14:00～15:30） 「Introduction to U.S. Foreign Relations」 竹本 周平 講師 アメリカの外交政策とは何か。アメリカは世界とどのように関わってきたのか。そもそもアメリカとはどのような国家なのか。本授業では、世界の超大国であり、日本の重要な同盟国であるアメリカの外交政策を学問的に理解するための基礎知識を講義します。（講義は日本語と英語で行います） | | | | | | | | |
| テキスト | | | | | | | | |
| 参考文献 | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 土曜日 集中 | 開講日 | 6/1 13:30～ | 6/1 15:15～ | 6/8 13:30～ | 6/8 15:15～ | 6/22 14:00～ |
| 関連科目 | | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | |
|--|---|-------------|-------------------|--------------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 大学等名 | | ノースアジア大学 | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 高校生のための経済学 ・経営学入門 | | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉経済学部 (職・氏名) 准教授 李 廷珉 他(5名) | | | | | |
| 授業概要 経済学や経営学は、私たちの日常を見つめなおし、豊かな生活に変えていくためのヒントを与えてくれます。政治経済や現代社会の勉強を深めたい、大学で詳しく学ぶための準備をしたいという皆さんは、是非とも受講しましょう。 | | | | | | | | | |
| 授業方法 と留意点 | 経済学・経営学の理論と実践を中心に、オムニバス形式で一話完結型の講義を実施します。経済学も経営学も人や人の集合を対象とする学問です。自分と経済・経営との関わりを考えながら受講して下さい。 | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | |
| <u><5月24日></u> | | | | | | | | | |
| 第1講: 「為替レートと日本経済」 | | | 前田 直哉 講師 | | | | | | |
| 為替レートの変動は日本経済にどのような影響を与えているのでしょうか?そもそも、為替レートはどのようなメカニズムを通じて変動するのでしょうか?このような素朴な疑問について皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。 | | | | | | | | | |
| <u><6月7日></u> | | | | | | | | | |
| 第2講: 「どうなる!?消費税」 | | | 迫 一光 講師 | | | | | | |
| 借金漬けといわれる日本の財政状況を改善するために、いつも話題になるのが「消費税率の引き上げ」です。実際にそうなってしまうのか?この素朴な疑問について、国の歳出や歳入の構造を理解しながら一緒に考えたいと思ひます。 | | | | | | | | | |
| <u><6月21日></u> | | | | | | | | | |
| 第3講: 「経営学ってなんだろう?」 | | | 李 廷珉 准教授 | | | | | | |
| これから大学に進学し、「経営学」を学ぼうとする方、または、「経営学って何を研究する学問だろう」と思っている方にとって、この講座は、経営学を理解するための、ウォーミング・アップのようなものです。ぜひ、受講して下さい。 | | | | | | | | | |
| <u><7月5日></u> | | | | | | | | | |
| 第4講: 「リスクって悪いものなの?」 | | | 山本 俊 講師 | | | | | | |
| 「あなたは大切なものをどう運びますか?」授業はこの質問からスタートし、統計学の基礎知識を説明した後に、株式投資のリスク分散理論を紹介します。 | | | | | | | | | |
| ※計算機を持参して下さい。 | | | | | | | | | |
| <u><7月12日></u> | | | | | | | | | |
| 第5講: 「仕事における満足と不満足」 | | | 松永 州正 講師 | | | | | | |
| どうすれば従業員の満足度が高まるのだろうか。給与の改善は、彼らを満足させるのだろうか。従業員が仕事を通じて、満足を感じる要因と不満足を感じる要因は異なります。このことを手掛かりに、管理のあり方を考えたいと思ひます。 | | | | | | | | | |
| テキスト | 講義中に配付する資料を使ひます。(パワーポイント、プロジェクターを含む) | | | | | | | | |
| 参考文献 | 特になし。講義中に、高校生にも読んでほしい本を紹介しひます。 | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 金曜日 | 17:30~19:00 | 開講日 | 5/24 | 6/7 | 6/21 | 7/5 | 7/12 |
| 関連科目 | 国際経済学、マクロ経済学、経営学、金融論 *公務員試験の経済職向け科目 | | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | |
|--|---|-------------|-------------------------|--|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 大学等名 | | ノースアジア大学 | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 法学の面白さ ～法学のメガネで社会を見てみよう～ | | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉法学部 法律学科 (職・氏名) 教授 木村 澄 他(5名) | | | | | |
| 授業概要 「法」の話というと、とっつきにくいイメージがあるかも知れません。しかし、一見すると奇妙な法律や判決が、実は先人たちの知恵の結晶であったり、みんなの利益に役立つものであったりと、意外と楽しめます。そんな楽しさに触れながら、法律学の真髄に接してみましよう。 | | | | | | | | | |
| 授業方法と留意点 | 本学の5人の専任教員によるオムニバス講義です。事前の準備等は特に必要ありませんが、ノート、筆記用具を持参してください。 | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | |
| <u><5月30日></u> | | | | | | | | | |
| 第1講: 「 憲法 」 | | | 佐藤 寛稔 准教授 | | | | | | |
| 面白い憲法の事例を使って、皆さんと一緒に憲法学的に「考える」トレーニングをします。 | | | | | | | | | |
| <u><6月6日></u> | | | | | | | | | |
| 第2講: 「 民法 」 | | | 孟 觀燮 准教授 | | | | | | |
| お母さんに内緒で自転車を買ったが、怒られそう。キャンセルできるかなあ!!民法で答えを探してみよう。 | | | | | | | | | |
| <u><6月13日></u> | | | | | | | | | |
| 第3講: 「 刑事政策 」 | | | 中條 晋一郎 講師 | | | | | | |
| なぜ人は犯罪をするのか、そしてどうしたら犯罪を減らせるのか、などについて学びます。 | | | | | | | | | |
| <u><6月20日></u> | | | | | | | | | |
| 第4講: 「 裁判法 」 | | | 川口 誠 准教授 | | | | | | |
| さまざまな紛争(民事事件)や犯罪(刑事事件)と裁判所との関わりについて、システムを学びましょう。 | | | | | | | | | |
| <u><6月27日></u> | | | | | | | | | |
| 第5講: 「 労働法 」 | | | 木村 澄 教授 | | | | | | |
| 皆さんが、将来働くときに必ず役に立つのが労働法です。労働法がどのように生まれ私たちの生活を守っているかを明らかにします。 | | | | | | | | | |
| テキスト | 適宜 プリントを配付します。 | | | | | | | | |
| 参考文献 | なし | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 木曜日 | 17:30～19:00 | 開講日 | 5/30 | 6/6 | 6/13 | 6/20 | 6/27 |
| 関連科目 | | | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | |
|---|---|-------------|-------------|--------------|---|---------|---------|---------|---------|
| | | 大学等名 | | ノースアジア大学 | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 楽しい国際観光in秋田 | | | 科目担当者 | 〈学部・学科〉法学部 観光学科 (職・氏名)教授 向谷地 博信 他(2名) | | | | |
| 授業概要 海外旅行や海外の仕事でして楽しかったこと、海外のすばらしい観光地の事情、観光と環境のことや、観光英語にチャレンジしようなど、楽しい国際観光のお話をします。 | | | | | | | | | |
| 授業方法と留意点 | 担当の先生方は、海外旅行を何度も行ったり、海外のいろんなホテルのマネジメントに関わってきた先生方です。この講座を受けて、海外旅行や海外での仕事の楽しさを聞いてみよう。観光学科の学生も参加します。 | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | |
| <u><6月5日></u> | | | | | | | | | |
| 第1講: 「ガイドダンス」 向谷地 博信 教授/三浦 薫 准教授 海外旅行や海外の仕事で楽しかったこと 1. 海外旅行をして楽しかったこと 2. 海外のホテル経営をして楽しかったこと | | | | | | | | | |
| <u><6月12日></u> | | | | | | | | | |
| 第2講: 「世界で脚光を浴びるドバイなど」 向谷地 博信 教授 「世界で脚光を浴びるドバイ」; 「中国見たまま~NOW」 | | | | | | | | | |
| <u><6月19日></u> | | | | | | | | | |
| 第3講: 「世界を旅して」 三浦 薫 准教授 いろいろな国を旅行して楽しかったことなどをお話します。 | | | | | | | | | |
| <u><6月26日></u> | | | | | | | | | |
| 第4講: 「東南アジアの観光事情」 向谷地 博信 教授 東南アジアの最近の観光事情をお話します。 | | | | | | | | | |
| <u><7月3日></u> | | | | | | | | | |
| 第5講: 「観光英検にチャレンジしよう。」 三浦 薫 准教授 観光英検にチャレンジすることの意義やコツをお話します。 | | | | | | | | | |
| テキスト | 特になし | | | | | | | | |
| 参考文献 | 特になし | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 水曜日 | 17:30~19:00 | 開講日 | 6/5 | 6/12 | 6/19 | 6/26 | 7/3 |
| 関連科目 | | | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | |
|--|---|-------------|-------------|--------------|--|---------|---------|---------|---------|
| | | 大学等名 | | ノースアジア大学 | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 観光学のすすめ | | | 科目担当者 | 〈学部・学科〉法学部 観光学科 〈職・氏名〉教授 道端 忠孝 他(4名) | | | | |
| 授業概要 今、脚光を浴びる観光。国は観光立国の推進。秋田県は観光文化スポーツ部の創設。観光ってなんだろう！観光は楽しく、感動します。各地域は観光によるまちづくりです。いろいろな角度からの観光のお話です。 | | | | | | | | | |
| 授業方法と留意点 | 観光はいろいろな分野にかかわる学問です。今回は、観光というものを分かってもらうために、いろいろな先生が観光について、いろいろな視点からお話します。お楽しみにしてください。観光学科の学生も参加します。 | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | |
| < 5月21日 > | | | | | | | | | |
| 第1講：「ガイドンス」 道端 忠孝 教授/向谷地 博信 教授 井上 寛 准教授/後藤 忠志 准教授 それぞれの先生がそれぞれの立場から、観光についての思いをお話します。 | | | | | | | | | |
| < 5月28日 > | | | | | | | | | |
| 第2講：「観光学とはなんだろう！」 井上 寛 准教授 観光学って何か。観光は楽しく感動することが多いな！観光学を学ぶことの魅力をお話します。 | | | | | | | | | |
| < 6月4日 > | | | | | | | | | |
| 第3講：「観光と産業」 向谷地 博信 教授/井上 寛 准教授 ホテル、エアーライン、旅行業の現状やその魅力をお話します。 | | | | | | | | | |
| < 6月11日 > | | | | | | | | | |
| 第4講：「いろいろな観光地！」 後藤 忠志 准教授 魅力的ないろいろな観光地のお話をします。 | | | | | | | | | |
| < 6月18日 > | | | | | | | | | |
| 第5講：「観光立国と秋田県」 道端 忠孝 教授 観光立国とは。観光立国がなぜ今か。観光立国時代に秋田県はどうすればいいのか、お話します。 | | | | | | | | | |
| テキスト | 特になし | | | | | | | | |
| 参考文献 | 特になし | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 火曜日 | 17:30~19:00 | 開講日 | 5/21 | 5/28 | 6/4 | 6/11 | 6/18 |
| 関連科目 | | | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | |
|--|---|-------------|-------------------------|--|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | | 大学等名 | | 秋田看護福祉大学 | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 看護の魅力と可能性 ～看護学のこれからを探る～ | | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉看護福祉学部 看護学科 (職・氏名)教授 岩間 薫 他(4名) | | | | |
| 授業概要 看護学科教員が、各専門領域の授業を通して、様々な場における看護を紹介しその魅力をお伝えします。高度化する現代医療の中でも、人を「見る」「護る」看護の大切さと、その可能性を共に考えます。 | | | | | | | | |
| 授業方法と留意点 | 大学で行っている「看護学」の講義や演習を、身近に感じてもらえるような授業を展開します。 | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | |
| <u><7月20日></u> | | | | | | | | |
| 第1講：(13:30～15:00) 「セクシュアリティ 一人間にとって性とは？」 母性看護学 岩間 薫 教授 | | | | | | | | |
| 第2講：(15:15～16:45) 「地域に帰られた患者さんを支える看護」 地域看護学 佐藤 孝 講師 | | | | | | | | |
| <u><8月24日></u> | | | | | | | | |
| 第3講：(13:30～15:00) 「糖尿病の予防」 成人看護学 佐藤 純子 講師 | | | | | | | | |
| 第4講：(15:15～16:45) 「自分の身体を観察してみよう」 基礎看護学 幸山 靖子 講師 | | | | | | | | |
| <p><その他>この授業は、秋田看護福祉大学を会場に開講します。 住所 大館市清水2丁目3-4 電話 0186-45-1712</p> | | | | | | | | |
| テキスト | 適宜資料を配付する。 | | | | | | | |
| 参考文献 | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 土曜日 | 13:30～16:45 | 開講日 | 7/20 13:30～ | 7/20 15:15～ | 8/24 13:30～ | 8/24 15:15～ |
| 関連科目 | | | | 会場 | 看護福祉大 | 看護福祉大 | 看護福祉大 | 看護福祉大 |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | |
|--|---|-------------|-------------------|--|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | | 大学等名 | | 秋田看護福祉大学 | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 「福祉学」の魅力と可能性 ～地域の未来を拓く「福祉学」 の役割と可能性～ | | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉看護福祉学部 福祉学科 (職・氏名) 教授 赤羽 卓朗 他(4名) | | | | |
| 授業概要 少子化や高齢化の進行に伴う地域の課題を考えるとともに、福祉学が、実践において課題にどう取り組んでいるかを学びます。また、福祉学を学ぶことの魅力、可能性、将来性などについて考え知る機会とします。 | | | | | | | | |
| 授業方法 と留意点 | 実践経験の豊富な教員から、福祉援助の現場での実際的な課題を提示し、授業参加者とともに考え、課題解決の道を探ります。 | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | |
| <7月20日> | | | | | | | | |
| 第1講：(13:30～15:00) 「福祉学の視点から地域の課題を考える」 赤羽 卓朗 教授 | | | | | | | | |
| 第2講：(15:15～16:45) 「高齢者の暮らしを地域で支える」 熊谷 大輔 助教 | | | | | | | | |
| <8月24日> | | | | | | | | |
| 第3講：(13:30～15:00) 「子どもの心をはぐくむ」 駒ヶ嶺 裕子 助教 | | | | | | | | |
| 第4講：(15:15～16:45) 「ボランティア活動と地域づくり」 吉田 守実 講師 | | | | | | | | |
| <p><その他>この授業は、秋田看護福祉大学を会場に開講します。 住所 大館市清水2丁目3-4 電話 0186-45-1712</p> | | | | | | | | |
| テキスト | 適宜資料を配付する。 | | | | | | | |
| 参考文献 | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 土曜日 | 13:30～16:45 | 開講日 | 7/20 13:30～ | 7/20 15:15～ | 8/24 13:30～ | 8/24 15:15～ |
| 関連科目 | | | | 会場 | 看護福祉大 | 看護福祉大 | 看護福祉大 | 看護福祉大 |

平成25年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | |
|---|---|-------------|-------------------|---|--------------|---------------|---------------|--------------|---------------|
| | | 大学等名 | | 日本赤十字秋田看護大学 | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 高校生のための看護学入門 ～「生きる」を支える人になる～ | | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉看護学部 看護学科 (職・氏名) 准教授 磯崎 富美子 他 (5名) | | | | | |
| 授業概要 各専門領域（基礎看護学、成人看護学、小児看護学、精神看護学、地域看護学）の看護やその活動を紹介することで、看護のこころ、ケアについて理解と関心を深めます。 | | | | | | | | | |
| 授業方法 と留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・オムニバス形式で下記担当者によるリレー形式で講義を進めます。 ・講義は、全てカレッジプラザにて夏季集中で行います。 | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | |
| <u>< 8月5日 ></u> | | | | | | | | | |
| 第1講：(9:30～11:00) | | | | | | | | | |
| 高校生のための基礎看護学「与薬について」 | | | 酒井 志保 講師 | | | | | | |
| 第2講：(11:10～12:40) | | | | | | | | | |
| 高校生のための成人看護学「手術を受ける人の看護」 | | | 磯崎 富美子 准教授 | | | | | | |
| <u>※12:40～13:20 昼食時間 (昼食を持参ください)</u> | | | | | | | | | |
| 第3講：(13:20～14:50) | | | | | | | | | |
| 高校生のための小児看護学「小児喘息について」 | | | 奥山 朝子 准教授 | | | | | | |
| <u>< 8月6日 ></u> | | | | | | | | | |
| 第4講：(9:30～11:00) | | | | | | | | | |
| 高校生のための地域看護学「地域における看護活動」 | | | 木下 彩子 講師 | | | | | | |
| 第5講：(11:10～12:40) | | | | | | | | | |
| 高校生のための精神看護学「心のケアの看護学」 | | | 牟田 能子 助教 | | | | | | |
| テキスト | 講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。 | | | | | | | | |
| 参考文献 | 授業の中で紹介します。 | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 夏季集中 | | 開講日 | 8/5 9:30～ | 8/5 11:10～ | 8/5 13:20～ | 8/6 9:30～ | 8/6 11:10～ |
| 関連科目 | | | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | | |
|--|--------------------------|-------------|-------------|------------|-----------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 大学等名 | | 秋田公立美術大学 | | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | アート・デザインの現状と未来 | | | 科目 | (学部・学科) 美術学部 | | | | | |
| | | | | 担当者 | 美術学科 | | | | | |
| | | | | | (職・氏名) 教授 今中 隆介 他(6名) | | | | | |
| 授業概要 秋田公立美術大学は、現代社会の諸相に真正面から挑み、多彩な美術表現によって新たな切り口を提示していきます。この授業では、文化人類学者、アーティスト、デザイナー、教育学者が分野横断的観点を交えながら、これから担う美術の今日的テーマを語ります。 | | | | | | | | | | |
| 授業方法と留意点 | 専門分野が異なる6名の教員によるオムニバス授業。 | | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | | |
| < 6月2日 > | | | | | | | | | | |
| 第1講：(13:30~15:00) | | | | | | | | | | |
| 「アートの始まる場所~境界を越える冒険~」 石倉 敏明 講師 | | | | | | | | | | |
| ヒトはなぜ<<アート>>を発明したか?芸術発生から「人類とは何か」を考えます。 | | | | | | | | | | |
| 第2講：(15:15~16:45) | | | | | | | | | | |
| 「アートの社会性とは」 大谷 有花 准教授 | | | | | | | | | | |
| さまざまなアートの楽しみ方を紹介しながら、アートと社会生活の関連などを考察する。 | | | | | | | | | | |
| < 6月9日 > | | | | | | | | | | |
| 第3講：(13:30~15:00) | | | | | | | | | | |
| 「道具のもつフォルム“形態”について」 今中 隆介 教授 | | | | | | | | | | |
| 生活を取り巻いている道具のもつ、機能と構造とフォルム“形態”の関係性について考える。 | | | | | | | | | | |
| 第4講：(15:15~16:45) | | | | | | | | | | |
| 「コミュニケーションデザインってなんだろう?」 水田 圭 准教授 | | | | | | | | | | |
| ポスター?広告?ウェブ?姿をかえる、コミュニケーションデザインについて考えよう。 | | | | | | | | | | |
| < 6月16日 > | | | | | | | | | | |
| 第5講：(13:30~15:00) | | | | | | | | | | |
| 「比較してみる街の風景に関する研究」 山内 貴博 准教授 | | | | | | | | | | |
| 場の固有性の論理を解明する目的で行っている景観デザイン専攻における研究の紹介。 | | | | | | | | | | |
| 第6講：(15:15~16:45) | | | | | | | | | | |
| 「美術教師を目指すとは」 毛内 嘉威 教授 | | | | | | | | | | |
| 美術教師の未来について概説し、併せてよりよく生きることの大切さについて考える。 | | | | | | | | | | |
| テキスト | 適宜配付する。 | | | | | | | | | |
| 参考文献 | | | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 日曜日 | 13:30~16:45 | 開講日 | 6/2 | 6/2 | 6/9 | 6/9 | 6/16 | 6/16 |
| | | | | | 13:30~ | 15:15~ | 13:30~ | 15:15~ | 13:30~ | 15:15~ |
| 関連科目 | | | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | |
|--|--|-------------|-------------|------------|-----------------------|---------------|---------------|---------------|
| | | 大学等名 | | 秋田栄養短期大学 | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 健康と栄養 | | | 科目 | 〈学部・学科〉 栄養学科 | | | |
| | | | | 担当者 | 〈職・氏名〉 教授 廣川 忠男 他（4名） | | | |
| 授業概要 日常の食事の摂り方は直接的・間接的に私たちの健康と密接な関わりをもっています。本講では、食の安全、食事の習慣と健康や疾患との関係、疾病が起こる原因等について分かりやすく解説します。 | | | | | | | | |
| 授業方法と留意点 | 4つのテーマについて4人の講師がそれぞれ講義していく形式をとります。講義テーマおよび担当者については、下記の授業計画をご覧ください。 | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | |
| <u>< 6月1日 ></u> | | | | | | | | |
| 第1講：（13:30～15:00） | | | | | | | | |
| 「体液浸透圧のはなし」 | | | | 廣川 忠男 教授 | | | | |
| 体液の浸透圧は一定の状態に維持されており、高すぎても低すぎても健康に影響が出てきます。講義では、体液の浸透圧の維持機構について解説しながら浸透圧について考えてみたいと思います。 | | | | | | | | |
| 第2講：（15:15～16:45） | | | | | | | | |
| 「美味しさの科学」 | | | | 伊藤 千夏 准教授 | | | | |
| 「美味しさ」は味だけで決定されるわけではありません。これまでの食体験などが大きく影響しています。味を感じる仕組みや、美味しさを決定する要因などについて解説します。 | | | | | | | | |
| <u>< 6月8日 ></u> | | | | | | | | |
| 第3講：（13:30～15:00） | | | | | | | | |
| 「おいしさの科学～季節感について～」 | | | | 東口 みづか 教授 | | | | |
| 昔から日本人は、食卓に季節感を取り入れることで食生活を豊かなものにしてきました。今回の授業では、食卓に季節感を演出するための工夫についてお話しします。 | | | | | | | | |
| 第4講：（15:15～16:45） | | | | | | | | |
| 「食の安全・安心と農薬の現在について」 | | | | 外城 寿哉 講師 | | | | |
| 今から70年前に化学農薬の使用が始まって以来、農薬の功罪が問われてきました。ここでは、最新の害虫管理技術の取り組みについて紹介したいと思います。 | | | | | | | | |
| ※開催場所が決定次第、受講者にはご連絡致します。 | | | | | | | | |
| テキスト | テキストは用いません。必要に応じて講義ごとにプリントを配付して進めます。 | | | | | | | |
| 参考文献 | 各講義の中で適宜紹介します。 | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 土曜日 | 13:30～16:45 | 開講日 | 6/1 13:30～ | 6/1 15:15～ | 6/8 13:30～ | 6/8 15:15～ |
| 関連科目 | 食品学、食品衛生学、栄養学 生理学、病態生理学 | | | 会場 | 大仙市 (予定) | 大仙市 (予定) | 大仙市 (予定) | 大仙市 (予定) |

平成25年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | 大学等名 | | 聖霊女子短期大学 | | | | |
|--|--|-----------------|---|----------|---------|---------|---------|---------|
| 科目名 (サブタイトル) | 食品と栄養の基礎知識 ～自分の食事をみなおそう～ | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉生活文化科 (職・氏名) 教授 塚田 三香子 他 (5名) | | | | | |
| 授業概要 栄養士養成課程で学ぶ栄養学、食品学、調理学、臨床栄養学、食品衛生学といった分野について、基礎的で簡単な実験や実習も取り入れながら解説します。 | | | | | | | | |
| 授業方法 と留意点 | 授業の目的は高校生向けに食品と栄養に関する正しい知識を伝え、食生活に興味をもってもらうことです。これを機会に自分自身の食生活を振り返り、健康づくりに役立ててほしいと思っています。資料は各講師が講義前にプリントとして配付します。また実験や実習に必要なものも講師が準備するので、受講生の準備は筆記用具のみでよいです。 | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | |
| < 5月25日 > | | | | | | | | |
| 第1講：「健康と栄養」 | | 進藤 祥子 准教授 | | | | | | |
| 身体と栄養について学び、実際に体組成計（体重計に体脂肪や筋肉量の測定機能などがついた計器）を用いて自己の身体状況を把握し、栄養状態について考えます。 | | | | | | | | |
| < 6月1日 > | | | | | | | | |
| 第2講：「食のリスクとは」 | | 塚田 三香子 教授 | | | | | | |
| 食品の放射能汚染、ノロウイルスなど、食の安全性については話題が豊富ですが、食生活を守るために現在なされていること、私たちがすべきことを学びましょう。 | | | | | | | | |
| < 6月15日 > | | | | | | | | |
| 第3講：「口から始まる栄養摂取～口から食べる意味～」 | | 長嶋 智子 准教授 | | | | | | |
| 毎日何気なく行っている「食べる」ということについて、どれだけのことを知っているでしょうか。体全体の健康にも関わる「口から食べる」ことについて一緒に考えてみましょう。 | | | | | | | | |
| < 6月22日 > | | | | | | | | |
| 第4講：「野菜の調理特性と調理法」 | | 高山 裕子 講師 | | | | | | |
| 野菜はビタミンやミネラルを多く含み、美しい彩りや食感で楽しませてくれる食卓には欠かせないものです。身近な野菜の調理特性と切り方・加熱調理・盛り付けのコツなど、実践に役立つ調理学を学びます。 | | | | | | | | |
| < 6月29日 > | | | | | | | | |
| 第5講：「食品成分とその働きについて」 | | 三森 一司 教授 | | | | | | |
| 身近な食品にどのような栄養素が含まれ、それらはどのような働きをしているのか理解しましょう。 | | | | | | | | |
| テキスト | 配付資料 | | | | | | | |
| 参考文献 | 定めない | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 土曜日 13:30～15:00 | 開講日 | 5/25 | 6/1 | 6/15 | 6/22 | 6/29 |
| 関連科目 | 生物、化学、家庭科、保健体育 | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目 (科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | |
|---|---|-------------|-------------|-------------|---------------------------------------|---------|---------|---------|---------|
| | | 大学等名 | | 聖霊女子短期大学 | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | ようこそ保育の道へ | | | 科目担当 | 〈学部・学科〉生活文化科 〈職・氏名〉教授 横山 智也 他 (5名) | | | | |
| 授業概要 生活こども専攻で開講されている「保育原理」「こどもの図画工作」「保育内容表現」「幼児理解」「こどもの音楽」の中から下記のような内容で5人の先生が授業を展開します。 | | | | | | | | | |
| 授業方法と留意点 | 講義と演習を組み合わせることで高校生にわかりやすく授業します。特別準備することはありませんので楽しく参加してください。 | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | |
| < 5月25日 > | | | | | | | | | |
| 第1講: 「ようこそ保育の道へ」 | | | 米川 泉子 講師 | | | | | | |
| 幼稚園はどの国で生まれたか知っていますか。意外に知られていない幼児教育についての歴史を振り返ります。また私たちは乳幼児期に言葉を覚えていきますが、その言葉のおもしろさ、不思議さについても、実際に作業などを体験して考えていきたいと思えます。 | | | | | | | | | |
| < 6月8日 > | | | | | | | | | |
| 第2講: 「色はなぜ見えるのか」 | | | 横山 智也 教授 | | | | | | |
| 太陽の光がモノの色を決めています。そこには波長というものがあります。波長と色の関係、色が見える仕組みなどを解説します。 | | | | | | | | | |
| < 6月22日 > | | | | | | | | | |
| 第3講: 「こどもの遊び」 | | | 畠山 君子 講師 | | | | | | |
| こどもの心を豊かに育てる遊びはたくさんあります。あなたも一緒に楽しく体験してみませんか。 | | | | | | | | | |
| < 6月29日 > | | | | | | | | | |
| 第4講: 「こどもを援助する～絵画療法に触れてみよう～」 | | | 織田 栄子 講師 | | | | | | |
| こどもが伸び伸びと自分を出せるような心理的援助法のひとつである絵画療法について学び、実際に体験することができます。 | | | | | | | | | |
| < 7月6日 > | | | | | | | | | |
| 第5講: 「うたあそびとミュージックベル」 | | | 佐藤 眞由子 講師 | | | | | | |
| 音楽にあわせて手話をしたり、踊ったり、手遊びをします。ミュージックベルの体験もできます。 | | | | | | | | | |
| テキスト | なし | | | | | | | | |
| 参考文献 | | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 土曜日 | 13:30～15:00 | 開講日 | 5/25 | 6/8 | 6/22 | 6/29 | 7/6 |
| 関連科目 | | | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | |
|--|--|-------------|-------------------------|--------------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 大学等名 | | 聖霊女子短期大学 | | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 哲学はじめの一步 ～学び、生きることの意味について～ | | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉生活文化科 〈職・氏名〉教授/図書館長 御子神 隆也 | | | | | |
| 授業概要 「何のために生きるのか」という問いは誰にとっても気になるものです。しかし、この問いは簡単に答を出せないで、多くの人は考えるのを面倒がり、あまり深く考えません。でも、真面目に考えてみたら「自分が納得できる答」が見つかるかもしれません。この授業では、そのような哲学的思考のための基礎知識、考え方のポイントを学びます。 | | | | | | | | | |
| 授業方法 と留意点 | プリントを配付して、それに従って話していきます。ときどき受講生の意見を訊いたり、質問を受けたりするので、積極的に参加して下さい。 | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | |
| <u><5月29日></u> 第1講：「哲学ってどんなこと？」 そもそも哲学とは何をする事なのか…それは本当のことすなわち真理を知ることなのだが、人間にそれを知ることができるのか、それを知るとどうなるのか、このような「知ること」そのものの意味を探ります。 | | | | | | | | | |
| <u><6月5日></u> 第2講：「哲学的人間論」 西洋思想史におけるいくつかの人間像、「理想的人間」「感情的人間」「創造的人間」「遊ぶ人間」「我と汝の関係に立つ人間」「神のかたどり」を紹介し、人間性、人間らしさとは何かを考えます。 | | | | | | | | | |
| <u><6月12日></u> 第3講：「カントの道徳哲学」 カントは人間を道徳的存在と捉えました。この考えは「形式主義」の名のもとに批判を受けることがありますが、人生の意味という問題にとって積極的な意義があります。このことを、人間の自由と責任という側面から学びます。 | | | | | | | | | |
| <u><6月19日></u> 第4講：「シェーラーの価値人格主義」 シェーラーは、人間の人格が価値の究極的な担い手であると考えました。このことを学びながら、そもそも「価値」とは何かを考え、「人それぞれ」とか「好みの問題」とかいう一見「もの分かりのよい考え」では済まない、ということに気づくようにします。 | | | | | | | | | |
| <u><6月26日></u> 第5講：「人生の価値とは—V・E・フランクルの思想から」 フランクルの「夜と霧—絶滅収容所の体験記」を題材に、苦しみにさえ意味があるということを考察し、人生の希望は決してなくなる、生きる意味はどの人生にもある、ということを学びます。 | | | | | | | | | |
| テキスト | 講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。 | | | | | | | | |
| 参考文献 | 授業の中で紹介します。 | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 水曜日 | 17:30～19:00 | 開講日 | 5/29 | 6/5 | 6/12 | 6/19 | 6/26 |
| 関連科目 | 倫理学 | | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目 (科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | |
|----------------------------------|---|-------------|------------|-------------------------|----------------|---------------|---------------|---------------|
| | | 大学等名 | | 日本赤十字秋田短期大学 | | | | |
| 科目名 (サブタイトル) | 暮らしを創る介護福祉士の役割 ～「生きる」を支える人になる～ | | 科目 | 〈学部・学科〉 介護福祉学科 | | | | |
| | | | 担当者 | (職・氏名) 准教授 藤沢 緑子 他 (2名) | | | | |
| 授業概要 | ① 介護福祉士の歴史、現状について理解します。 ② 暮らしを支える介護福祉士の役割について理解します。 ③ 高齢者や障がい者の「生活」に焦点をあて講義と演習で理解を深めます。 | | | | | | | |
| 授業方法と留意点 | その人らしさを大切にする生活支援と介護福祉士の役割について講義と実技演習による授業を展開します。 | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | |
| <u>< 7月31日 ></u> | | | | | | | | |
| 第1講： (13:00～14:30) | | | | | | | | |
| 「介護福祉の概況 (介護福祉士の歴史と現状)」 | | | 藤沢 緑子 准教授 | | | | | |
| 第2講： (14:45～16:15) | | | | | | | | |
| 「人間の尊厳を支える介護福祉活動と介護福祉士の役割」 | | | 藤沢 緑子 准教授 | | | | | |
| <u>< 8月1日 ></u> | | | | | | | | |
| 第3講： (10:30～12:00) | | | | | | | | |
| 「高齢者及び障がい者の生活支援」 | | | 高橋 謙一 講師 | | | | | |
| ※12:00～13:00 昼食時間 (昼食を持参ください) | | | | | | | | |
| 第4講： (13:00～14:30) | | | | | | | | |
| 「認知症の理解と生活支援」 | | | 高橋 謙一 講師 | | | | | |
| 第5講 (14:45～16:15) | | | | | | | | |
| 「生活支援技術の実際」 | | | 高橋 謙一 講師 | | | | | |
| ※演習：動きやすい服装、上履き持参のこと | | | | | | | | |
| <その他>この授業は、日本赤十字秋田短期大学を会場に開講します。 | | | | | | | | |
| 住所 秋田市上北手猿田字苗代沢17-3 | | | | | | | | |
| 電話 018-829-3983 | | | | | | | | |
| 秋田駅東口2番のりばからバス15分 日赤病院前下車 (320円) | | | | | | | | |
| <u>※講義の先生が変更になる可能性があります。</u> | | | | | | | | |
| テキスト | 講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。 | | | | | | | |
| 参考文献 | 授業の中で紹介します。 | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 夏季集中 | 開講日 | 7/31 13:00～ | 7/31 14:45～ | 8/1 10:30～ | 8/1 13:00～ | 8/1 14:45～ |
| 関連科目 | | | 会場 | 日赤短大 | 日赤短大 | 日赤短大 | 日赤短大 | 日赤短大 |

平成25年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | 大学等名 | 聖園学園短期大学 | | | | | |
|------------------------------|--|-----------------|------------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 科目名 (#タイトル) | 楽しく学べる保育入門 ～子どもとともに歩む保育とは～ | 科目 担当者 | 〈学部・学科〉保育科 (職・氏名)教授 安藤 節子 他(5名) | | | | | |
| 授業概要 | 保育関係専門科目の授業を複数の教員が内容紹介し、本学保育科を理解する一助にでもあります。 | | | | | | | |
| 授業方法 と留意点 | 通年または半期完結型の一連の授業を、90分ひとまとめにして提供します。科目によって内容構成や授業展開の方法が異なることを理解したうえで、講義や演習に参加してもらいます。 | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | |
| <u>< 6月5日 ></u> | | | | | | | | |
| 第1講：「保育の中の子どもと遊び（保育内容指導法）」 | | 安藤 節子 教授 | | | | | | |
| <u>< 6月12日 ></u> | | | | | | | | |
| 第2講：「保育所・幼稚園の生活と遊び（教育・保育実習）」 | | 猿田 興子 講師 | | | | | | |
| <u>< 6月19日 ></u> | | | | | | | | |
| 第3講：「音楽はリズム・メロディー・ハーモニー（音楽）」 | | 東海林 美代子 講師 | | | | | | |
| <u>< 6月26日 ></u> | | | | | | | | |
| 第4講：「動くおもちゃ（子どもと自然）」 | | 永井 博敏 准教授 | | | | | | |
| <u>< 7月3日 ></u> | | | | | | | | |
| 第5講：「子どもと絵本（保育内容）」 | | 蛭田 一美 講師 | | | | | | |
| テキスト | | | | | | | | |
| 参考文献 | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 水曜日 17:30～19:00 | 開講日 | 6/5 | 6/12 | 6/19 | 6/26 | 7/3 |
| 関連科目 | | | 会場 | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ | カレッジプラザ |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名 秋田職業能力開発短期大学校

| | | | |
|------------------------|--|-------------------------|---|
| 科目名 (サブタイトル) | CADによるものづくり体験 ～簡単なマニピュレーターの設計・製作 によるものづくりの体験実習～ | 科目 担当者 | (学部・学科) 生産技術科 (職・氏名) 准教授 安田 三男 他(4名) |
|------------------------|--|-------------------------|---|

授業概要 CADによるマニピュレーターの設計を行い、その設計データに基づいた部品を組み立てることで、コンピュータを使用した機械の設計方法や、ものづくりの世界を体験します。

授業方法と留意点 設計・製作・組立を行います。ものづくりに興味がある学生を対象とします。

授 業 計 画

<7月30日>

《CAD実習》

第1講: (10:30~12:00)

「ロボットハンドについて学ぶ」

※12:00~13:00 昼食時間 (昼食を持参ください)

第2講: (13:00~14:30)

「CADの概要および操作方法について学ぶ」

第3講: (14:40~16:10)

「CADを使用して設計してみる」

<7月31日>

《総合製作実習》

第4講: (10:30~12:00)

「部品・工具および組立方法について学ぶ」

※12:00~13:00 昼食時間 (昼食を持参ください)

第5講: (13:00~14:30)

「製作実習①」

第6講: (14:40~16:10)

「製作実習②」

担当教員: 安田 三男 准教授、菊地 博道 准教授、村上 雅洋 講師、大槻 彰 講師

<その他>この授業は、秋田職業能力開発短期大学校を会場に開講します。

住所 大館市扇田道下6-1 (秋北バスターミナルより徒歩15分)

電話 0186-42-5700

| | | | | | | | | | |
|-------------|-----------|------|------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| テキスト | 自作テキスト・資料 | | | | | | | | |
| 参考文献 | | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 夏季集中 | 開講日 | 7/30 10:30~ | 7/30 13:00~ | 7/30 14:40~ | 7/31 10:30~ | 7/31 13:00~ | 7/31 14:40~ |
| 関連科目 | | | | 会場 | 職能短大 | 職能短大 | 職能短大 | 職能短大 | 職能短大 |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目 (科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

| | | | | | | | | | | | |
|--|---|-------------|--|---------------|------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | | 大学等名 | | 秋田職業能力開発短期大学校 | | | | | | | |
| 科目名 (括弧外) | ソフトウェアのしくみ ～ロボットはどうして動くの?～ | | | 科目 | (学部・学科) 電子情報技術科 | | | | | | |
| | | | | 担当者 | (職・氏名) 准教授 徳田 孝明 | | | | | | |
| 授業概要 スマフォ・ゲーム機・家電製品などにはソフトウェア (プログラム) が入っていて、機器を動かしています。ソフトウェアって何? 見えるの?? そのような疑問についてロボットを動かしながら理解し、解決してしまおう! | | | | | | | | | | | |
| 授業方法と留意点 | ロボットのプログラミングを通して、ものづくりの楽しさと難しさを学びながら、将来の方向性を考える参考になれば幸いです。ソフトウェアを全く知らない方でもどしどし参加してください。 | | | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | | | |
| <u><7月24日></u> | | | | | | | | | | | |
| 第1講: (10:30~12:00) 「ソフトウェアの成り立ち/ソフトウェアとは/職業との関連性は」 ※12:00~13:00 昼食時間 (昼食を持参ください) | | | | | | | | | | | |
| 第2講: (13:00~14:30) 「プログラムとは」 | | | | | | | | | | | |
| 第3講: (14:40~16:10) 「プログラムを作ってみよう」 | | | | | | | | | | | |
| <u><7月25日></u> | | | | | | | | | | | |
| 第4講: (10:30~12:00) 「モーターやセンサーとは」 ※12:00~13:00 昼食時間 (昼食を持参ください) | | | | | | | | | | | |
| 第5講: (13:00~14:30) 「センサーを使ってみよう/ロボットを動かしてみよう」 | | | | | | | | | | | |
| 第6講: (14:40~16:10) 「ETロボコンの競技コースをロボットが激走 /ロボット (プログラム) をチューニングしてみよう」 | | | | | | | | | | | |
| <p><その他>この授業は、秋田職業能力開発短期大学校を会場に開講します。 住所 大館市扇田道下6-1 (秋北バスターミナルより徒歩15分) 電話 0186-42-5700</p> | | | | | | | | | | | |
| テキスト | 自作テキスト・資料 | | | | | | | | | | |
| 参考文献 | | | | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 夏季集中 | | | 開講日 | 7/24 10:30~ | 7/24 13:00~ | 7/24 14:40~ | 7/25 10:30~ | 7/25 13:00~ | 7/25 14:40~ |
| 関連科目 | | | | | 会場 | 職能短大 | 職能短大 | 職能短大 | 職能短大 | 職能短大 | 職能短大 |

平成25年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名 秋田職業能力開発短期大学校

| | | | |
|------------------------|---|-------------------------|-----------------------------------|
| 科目名 (サブタイトル) | 室内の仕上げ施工実習 ～内壁のつくり方と仕上げ方法の 体験実習～ | 科目 担当者 | (学部・学科) 住居環境科 (職・氏名) 准教授 浅倉 卓也 |
|------------------------|---|-------------------------|-----------------------------------|

授業概要 この授業では、実習場内に建てられた木造模擬家屋に実際にボードを取り付け、仕上げ材料として壁紙を張って部屋を仕上げていきます。家がどんな材料や方法で作られているのか施工を体験して学んでみましょう。

授業方法と留意点 実際に部屋を仕上げていく実習中心の授業です。実習後半ではお互いに協力して作業していきますので、積極的に参加してください。

授 業 計 画

<7月30日>

- 第1講：(10:30～12:00)
「内壁仕上げ作業の概要」(学科)
※12:00～13:00 昼食時間 (昼食を持参ください)
- 第2講：(13:00～14:30)
「内壁ボード取り付け、縁材取り付け」(実習)
- 第3講：(14:40～16:10)
「下地調整」(実習)

<7月31日>

- 第4講：(10:30～12:00)
「クロス張り作業の概要」(学科) / 「クロス張り練習」(実習)
※12:00～13:00 昼食時間 (昼食を持参ください)
- 第5講：(13:00～14:30)
「模擬建物へのクロス張り①」(実習)
- 第6講：(14:40～16:10)
「模擬建物へのクロス張り②」(実習)

※実習が中心となりますので、両日とも作業できる服装で受講してください。

<その他>この授業は、秋田職業能力開発短期大学校を会場に開講します。
住所 大館市扇田道下6-1(秋北バスターミナルより徒歩15分)
電話 0186-42-5700

| | | | | | | | | | |
|-------------|------------------------|------|------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| テキスト | 授業内容をまとめたプリント教材を配付します。 | | | | | | | | |
| 参考文献 | 授業の中で紹介します。 | | | | | | | | |
| 開講時期 | 前期 | 夏季集中 | 開講日 | 7/30 10:30～ | 7/30 13:00～ | 7/30 14:40～ | 7/31 10:30～ | 7/31 13:00～ | 7/31 14:40～ |
| 関連科目 | 建築構法、建築施工実習 | | 会場 | 職能短大 | 職能短大 | 職能短大 | 職能短大 | 職能短大 | 職能短大 |

